

講師略歴

ムハマド・パテ

GFF ディレクター、世界銀行保健・栄養・人口グローバル
ディレクター、元ナイジェリア保健大臣



ナイジェリア連邦共和国出身。同国やガンビア、米国で医師・研究者として勤務した後、世界銀行に入行。公衆衛生シニア専門家としてアフリカ及び東アジア・太平洋地域のプログラムを監督。2008～11年、ナイジェリア国家プライマリ・ヘルス・ケア開発庁事務局長として、100万人の命を救うイニシアティブを牽引。2011年には同国保健大臣に就任し、HIV 母子感染予防など革新的なプログラムやプライマリ・ヘルス・ケアに対して10億米ドルの資金動員を支援するとともに、ポリオ根絶に向けた大統領タスクフォースを委員長として牽引。2015年～19年、母子保健や性と生殖に関する健康、栄養、教育分野への投資を行うビッグ・ウィン・フィランソロピー（英国）のCEOを務めた後、2019年7月より現職。ハーバード保健リーダーシップ賞（2013年）等を含め、これまでに数々のグローバルヘルスに関する賞を受賞。アフマドゥ・ベロ大学（ナイジェリア）より医学博士号、デューク大学より保健経営学修士号、ロンドン大学公衆衛生学・熱帯医学大学院より保健学修士号を取得。

瀧澤 郁雄

JICA 人間開発部次長兼保健第一グループ長



国際関係論に関する学士を1992年3月に筑波大学から、人口・国際保健学に関する修士を1998年6月に米国ハーバード公衆衛生大学院から取得。

1992年4月より国際協力機構（JICA）で勤務、一貫してJICAがアジア、中南米、アフリカ地域で実施する保健分野や関連分野のプロジェクトに従事。2001年から2005年にかけては、JICA フィリピン事務所で勤務し、保健、教育、地方行政分野を担当。2008年から2010年にかけては、保健分野広域企画調査員としてJICA ケニア事務所で勤務し、JICA がアフリカ地域で実施する保健分野プロジェクトの計画立案、モニタリング評価に参画。現在は、人間開発部の次長として、JICA がアフリカ、中近東・欧州、中南米地域で実施する保健分野の活動を統括。また技術領域としては、JICA が実施するUHC 支援を含む保健システム強化、健康危機対応を含む感染症対策を統括。